

大分教育事務所訪問 16

臼杵市立佐志生小学校から学ぶ

学校の教育目標を『わかる』『つたえる』『ひろげる』佐志生っ子の育成と定め、「目指す子ども像」も学校の教育目標と資質・能力の3本柱と一致させていることでとても明確にしています。なお、これらの目標設定については、昨年度末に子どもの実態を9つのマトリクスの視点で捉え、ブレインストーミング等を取り入れながら全職員で決定したそうです。

学校経営から学ぶ

全教職員が全校児童23名の担任であるように、目指す子ども像と付けたい力明確にして、「月ごとのふりかえりシート」をもとに取組状況（アウトプット）と子どもの成長（アウトカム）についてそれぞれの検証を継続的に行っています。

今後は、取組指標の中に短期で検証ができそうなもの（例：にこにこあいさつの「一言添え」等）については、期間を決めて（2週間～1ヶ月）集中して行うことで、教職員も子どももより成長を感じたり課題を明確したりすることができるでしょう。そして、次はさらに質の高い目標を設定するような短期PDCA サイクルを回す取組を一部取り入れることで、子ども達自身が、より成長（資質・能力の育成）を感じるような実践が期待されます。

授業から学ぶ

「ザ・ピグメント」「ねん土ランド」等の児童の作品や作文、総合的な学習の時間で学んだことを、目につきやすい場所にコーナーをつくって掲示しています。それぞれの子ども達の良さを教職員だけでなく、子ども達も認め合えることができるの環境の工夫が素晴らしいです。



どの授業もそれぞれの子どもが自分らしさを発揮しており、特に5年生は、自分が最初に創った俳句とその後修正した作品を示し、なぜ修正したかという自己内対話について紹介するものでした。そのため、聞いている子ども達も共感しており、作品の良さを自分の言葉で伝えていました。

今後は、よりテンポのある授業や子どもに時間を意識させることを取り入れることで、圧倒的な量の問題を解ける、圧倒的な量を書ける、1時間に何度も活躍の場がある、異学年で学び合える等、小規模校の強みを活かしながら、それぞれの資質・能力がより定着することが期待されます。



NO.95 2021年6月 臼杵市立佐志生小学校

わかる

自分の力で課題に取り組む。だから、できたときの喜びは大きい。



NO.94 2021年6月 臼杵市立佐志生小学校

ひろげる

友達の考えや、資料を深く読むことで、自分の考えがひろがり、これからの生活に活かすことができる。



NO.93 2021年6月 臼杵市立佐志生小学校

つたえる

自分の思いを伝えられるのは、受け入れてくれる友達が、新たな価値を伝えてくれる友達がいるから。